

英米文学演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-310

選択必修 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)

チャールズ・ワディ作『ウォレス、またはスターリング橋の戦い』(1898年)の台本を翻訳し、演目に込められたスコットランド・ナショナリズムについて考える。

2. 授業の到達目標

台本の翻訳を通して、演目に現れるスコットランド・ナショナリズムの特徴を理解し、説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

担当する回に報告をする(50%)。学期末レポート(50%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しない。

5. 準備学修の内容

割り当てられた範囲に事前に訳をつける。

6. その他履修上の注意事項

報告を担当していない回であっても、議論に積極的に参加する。

7. 授業内容

【第1回】	ACT III- Scene I
【第2回】	ACT III- Scene II
【第3回】	ACT III- Scene III
【第4回】	ACT III- Scene IV
【第5回】	ACT IV- Scene I
【第6回】	ACT IV- Scene II
【第7回】	ACT IV- Scene III
【第8回】	ACT IV- Scene IV・V
【第9回】	ACT V- Scene I・II
【第10回】	ACT V- Scene II
【第11回】	ACT V- Scene III・IV
【第12回】	ACT V- Scene V
【第13回】	ACT V- Scene V・VI
【第14回】	PREFACE
【第15回】	まとめ・総括